

2014年11月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

11

2014
November
No.260

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 谷 浩明

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[26.10.1現在]

4,370名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新人教育プログラム P3▶活動報告/会長行動報告
 P5▶会員ライフサポート部活動報告48報 P8▶学会情報 P9▶研修会・講習会 P10▶理事会報告
 P13▶information P15▶スポーツ現場の独り言/余剰を楽しんでみよう P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



オールラウンダーと プロフェッショナル

済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部
伊藤 真也

年間1万人近くの受験者が国家試験に合格し理学療法士として社会に羽ばたく時代となり、全国の理学療法士の数は2014年6月時点で93273名（協会HPより）と、来年には10万人を超えるのではないかと状況となっています。

同じ仕事を生業とする仲間が増えるということはとても嬉しいことで、理学療法士が社会に果たすべき役割は今後さらに重要になっていくのではないかと考えながら職場に向かう今日この頃です。

一方で医療費削減のあおりを受けて、診療報酬の改定などではリハビリテーション料への風当たりが強くなっているのも事実であり、最近では理学療法士の職域の拡大について議論が交わされることが多くなってきました。何年前までは理学療法士という職業は売り手市場だったのが今や買い手市場となり、一部では希望通りの就職が困難になってきたという声も聞かれるようになってきました。

2012年に日本理学療法士協会の半田会長が次のように述べています。

「理学療法士の存在そのものが希少価値であった時代はとうに過ぎ去り、これからは理学療法士のライセンスをもとにした希少価値をそれぞれが磨き上げる時代です。その新しい希少価値は様々な領域に広がっています。（中略）いずれにしても「努力の証」が希少価値を産み出します。つまりは、理学療法士間の競争時代の到来なのです」

この言葉に裏付けられるように認定理学療法士・専門理学療法士の制度が本格的に稼働し始め、各種専門資格を取得する理学療法士が以前よりも増えてきました。理学療法における領域別のプロフェッショナルを各々が目指す流れができてきたのです。

ただ、最近こんなエピソードがありました。ある集まりで挨拶した若い理学療法士の先生から、「私はこの領域を専門としているので、それ以外の疾患の患者さんは基本的に診る

つもりはありません。」と、言われたことがあったのです。それは「環境上の問題などで特定の疾患しか診る機会がない」という意味ではなく、「専門的な理学療法士として生きていくにあたって、自分は専門とする領域の患者さんしか診ない」という意味でした。彼らがどのような職場で働いているのかはわかりませんでした。それが職場として許されているのであれば経験年数の若い理学療法士にとっては将来の幅を狭める危機的な問題であり、それを許している周りも含めて理学療法におけるプロフェッショナルの追求という言葉の意味を誤解していると感じたものです。

確かに理学療法士として専門性を磨いていくことは大切なことだと思います。しかし専門性を追求める前に、どんな疾患でも治療ができるという土台があることが絶対条件であることを忘れてはなりません。理学療法士はリハビリテーションの領域においてどんな疾患でも診ることができるオールラウンダーであるということが他にはない強みであり、それがこの職種が社会で存在感を発揮できるようになった要因となっていたはずなのです。

『理学療法士は「疾患」ではなく、「人」を診なければならない。』

学校や職場で、一度は耳にしたことがある言葉だと思えます。誰もが受け入れるこの言葉こそ理学療法士がオールラウンダーであるべき理由を物語っている気がしてなりません。

これから理学療法士はさらに増えていきます。数の増加とともに社会的責任は大きくなり発言力も強くなっていきますが、一方で個々の考え方や能力にはばらつきが見られていくことも予想されます。その時代の流れの中で色々変化することもあるかと思いますが、誰もが理学療法士としてオールラウンダーであり、かつプロフェッショナルであることを目指す、そんな医療人の集まりであり続けられればよいと思います。

新人教育プログラム



平成26年度 第3回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会事務局新人教育部

この度、平成26年度の第3回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

開催日 平成26年12月7日(日) 10:00～
(受付開始9:30～)

開催地 神奈川県立保健福祉大学 講堂

交通 京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分(案内図参照)。

受講費 本会会員 1,000円(受講単位数に関わらず一律1,000円)
他士会会員 4,000円(受講単位数に関わらず一律4,000円)

内容 新人教育プログラム研修会

時間帯	単位	新人教育プログラムテーマ
10:00-11:00	1	D-2.生涯学習と理学療法の専門領域
11:10-12:10	1	D-3.理学療法の研究方法論 (EBPT含む)
昼食		
13:10-14:10	1	E-3.国際社会と理学療法
14:20-15:20	1	D-1.社会の中の理学療法
15:30-16:30	1	B-2.クリニカルリーズニング

申込方法

事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。当日すべてのテーマを受講される方は5回の登録が必要になります。受講登録が済みますと自動返信メールがお手元に届きますので返信内容をお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。万一、自動返信メールが届かない場合は、必ず申し込み期限内に下記の連絡先へご連絡願います。自動返信メールが届かない場合は、登録が完了しておりませんので、当日受講をお断りすることがあります。

申請テーマのキャンセル

事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。登録後、万一受講できなくなった場合は、必ず神奈川県理学療法士会事務局までご連絡ください。

講義資料 日本理学療法士協会HPの「マイページ」よりダウンロードしご持参下さい。

定員 400名(先着順)

申込開始日 平成26年11月4日(火)

申込締切日 平成26年12月1日(月)

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「**日本理学療法士協会会員証**」をご持参下さい。

注) 研修終了時に**改めて終了受付があります**。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。

注) 昼食は各自でご用意ください。(ロビーでの飲食は可能ですが、ホール内での飲食は厳禁となっています)

【お問合せ先】

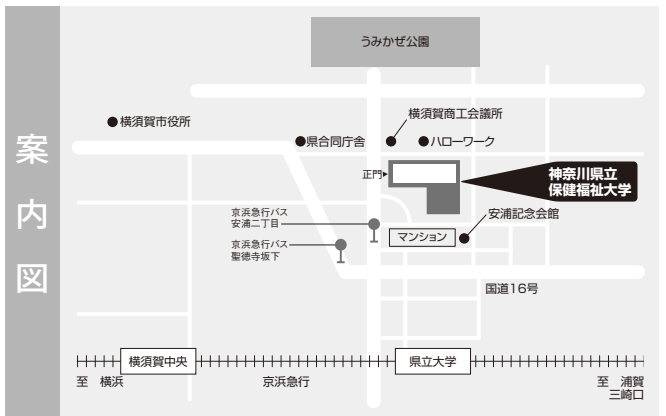
横須賀共済病院 リハビリテーション科

E-mail: reha-ykh@ykh.gr.jp

新人教育部 部長: 木村充広

公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局

E-Mail: office@pt-kanagawa.or.jp



新人教育プログラムが修了していない4年目以上の会員の方へ

本年7月より、「A: 必須初期研修」および「C: 理学療法の臨床」を除く各テーマに関して、協会主導によるe-ラーニングが始まっています。

経験年数が4年目以上の方で、会場への交通費を抑えたい、勤務や育児などの都合で新プロ研修会への出席が難しい、などの際に受講をご検討ください。

各テーマ視聴後に、**試験(5問)**が行われます。

試験に合格したら、視聴したテーマの単位が授与される仕組みになっています。

なお、1年目から3年目までの会員に関しては、**e-ラーニングによる受講はできません**。

【受講可能テーマ】 新人教育プログラムB・D・Eのテーマを受講することができます。

【申込】 「セミナー・講習会情報閲覧」または「マイページ」よりお申し込みください。

【受講料】 8,640円(6か月間)

【期間】 平成26年7月1日～平成27年2月28日

【受講期間】 申込月～最長6か月間(最終期日: 平成27年2月28日)

申込月	11月	12月	1月	2月	
受講可能期間	11月～2月末	12月～2月末	1月～2月末	2月～2月末	

e-ラーニングの受講に関してご質問、ご不明な点があれば、協会の生涯学習部へ直接お問い合わせください。

【問合せ先】 sinpuro@japanpt.or.jp

活動報告



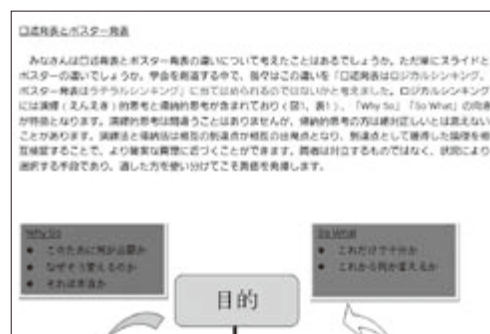
「学会発表ナビ」の公開のお知らせ

研究支援部 部長 池田 崇

この度、研究支援部で「学会発表ナビ」を県士会ホームページ上にて公開する事となりました。「学会発表ナビ」は研究計画の立案から、データ収集、抄録執筆、発表スライドに至るまでの流れを解説するチューターシステムです。研究や症例報告を経験することは、臨床推論（クリニカルリーズニング）の能力を高めるために有用ですので、県士会学会などでの発表にお役立てください。



<図1>



<図2>

学会発表ナビのトップページと内容の1例

トップページから、「会員の方へ」→左側の「研究支援部」のタブから閲覧ができます。

なお、「学会発表ナビ」は元々、第31回神奈川県理学療法士学会のホームページ上で公開されていたもので、第31回学会準備委員会および学術大会部のご尽力によって完成したものです。県士会ホームページ上で恒常的に公開することとなり、士会員の皆様にご活用頂けるようになりました。

ご不明な点は下記のメールアドレスまでお問い合わせください。

研究支援部 IT担当：kpta.research@gmail.com



月	日	内容	場所
8月	5日(火)	常任理事会、会務処理	事務所
	6日(水)	横浜市障害支援区分認定審査会	関内
	10日(日)	PT協会士会強化検討特別委員会	田町カンファレンスセンター
	11日(月)	地域包括ケアシステム推進対策委員会、会務処理	事務所
	19日(日)	理事会、会務処理	事務所
9月	2日(火)	常任理事会、会務処理	事務所
	3日(水)	横浜市障害支援区分認定審査会	関内
	4日(木)	会務処理	事務所
	6日(土)	49回学会監査会	田町カンファレンスセンター
	6日(土)	関東甲信越ブロック協議会士会長会議、懇親会	鬼怒川温泉ホテル
	8日(月)	県医療専門職連合会理事会	OT士会事務所
	10日(水)	県訪問リハビリテーション協議会相談役会、会務処理	事務所
	11日(木)	PTOTST 養成施設等教員講習会運営委員会	医療研修推進財団会議室
	13日(土)	日本支援工理学療法学会運営幹事会	田町カンファレンスセンター
	16日(火)	事業運営会議、会務処理	事務所
	17日(水)	清川村訪問リハビリテーション事業	清川村
	17日(水)	障害者トリアスロン競技クラス分け打ち合わせ	横浜ラポール
	20日(土)		
	-21日(日)	日本身体障害者補助犬学会	中部国際空港セントレアホール
26日(金)	49回学会大会長賞選考委員会	県立大学	
29日(月)	関心理学会準備委員会、会務処理	事務所	

活動報告

(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 第3回災害対策研修会が開催されました。

神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成26年10月13日（月）横浜ワールドポーターズにおきまして「災害対策委員会 第3回災害対策研修会」が開催されました。

東日本大震災から3年半が経ちました。災害時におけるリハビリテーションの役割を検討し整備することが急務とされています。今回はその第3弾として「災害時における行政の支援体制とリハビリテーションとの連携について」をテーマに「地域防災」をキーワードにした行政とリハビリテーション関連職が連携していくことで出来る地域づくりについて検討することを目的として研修会を開催しました。



講師には神奈川県庁より松下 圭吾氏（神奈川県庁保健福祉局保健医療部 健康危機管理課）、横浜市役所より家田 昌利氏（横浜市役所 健康福祉局 医療政策室）に加え、日本理学療法士協会より梶村 政司氏（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会「JRAT」）をお招きして、神奈川県や横浜市の災害医療支援体制について、県民や市民に対する防災・減災対策について、また梶村先生からはJRATの取り組みや、災害時における士会組織と行政との関わりについて、今年9月の広島県豪雨土砂災害時に実際に災害リハ支援活動をされた経験も踏まえてお話し

いただきました。

今回も災害医療における基本コンセプトや災害現場におけるマネジメント、公衆衛生・感染予防に関する知識（スフィア・プロジェクト）やライフラインに関する視点、広域搬送・移動時のリハビリテーション関連職の介入、そして災害時のトイレ問題と多岐に渡る内容で大変学びの多い機会となりました。

今回は台風19号が接近している中、会長、副会長をはじめ、多くの方々にご参加いただきました。一般社団法人神奈川県作業療法士会、神奈川県言語聴覚士会からもご参加いただきました。本当にありがとうございました。着実に神奈川県内における災害リハビリテーション支援ネットワークの基盤が構築されつつあり、地域包括ケアシステムと同様に災害リハビリテーション支援に対する機運も確実に高まってきているように感じました。

11月16日（日）に鎌倉・大船地区災害対策キャラバン、平成27年2月1日（日）には湘南西部地区災害対策キャラバンを開催する予定です。各地域にてさらに具体的な災害対策・防災施策を実行していきたいと思っております。より多くの方々のご参加をお願い致します。





第49回日本理学療法学会活動報告②

会員ライフサポート部 (杉山さおり、寺尾詩子)

会員ライフサポート部
活動報告 第48報
職場環境を考える

今回は、女性理学療法士の会と企画させていただいたライフサポートセミナーⅠの講演について、報告したいと思います。ここでは、そのごく一部ですが伝えられればと思います。この講演は、「就業継続に関する問題を考える」というテーマのもと、働きやすい環境づくりに欠かせない「お互いを思いやる」ために必要な知識として企画しました。これを機会に関心をもっていただければ幸いです。



第49回日本理学療法学会 (パシフィコ横浜にて)
ライフサポートセミナー第Ⅰ部
男性・女性のからだの違いや変化から考える職場環境

講演1

「男性・女性のからだの変化を知ろう」

広島国際大学 総合リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 平元奈津子先生

「体とところの状態は変化し続けています。若い時には想像もしなかったことが起こり、戸惑い、悩み、知らない間に周りにも影響を与えることも少なくありません。妊娠・出産についても、当事者ですらわからないことが多く、経験者でも他の人も同じとは限りません。すべての人がそれぞれに起こりうる変化を知っておくことは、自分自身のケアだけでなく家族、職場で相手について理解するために必要な知識ではないでしょうか」というこ

とで、女性については、妊娠・出産に伴う身体の変化と症状、更年期の身体の変化のそれぞれの面から、男性については、中高年の身体の変化を詳しくお話しいただきました。

妊娠・出産に起こりうる問題

- ・妊娠中には、運動器系の症状、呼吸循環器系、心身精神系の症状等があるにも関わらず、母体や胎児の生命の危機には直接的な影響がないためマイナートラブルとして扱われ、日本では積極的に治療介入がなされていない。

- ・産後の女性は、新たな慣れない育児動作による身体的負担だけでなく、育児や環境の変化による精神的な負担も大きく、新たな身体症状を生じやすい。

- ・妊娠中に生じた腰痛や骨盤痛が産後に継続し、慢性化するとされている。

- ・妊娠に伴う妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病の既往を持つ女性では、将来において極めて高率に本態性高血圧や糖尿病に進展することが理解されているにも関わらず、産後に継続して医学的介入がされていない。

以上のような事例は非常に多いという現状を報告されていました。

男性・女性の更年期障害

- ・女性の閉経前後5年を指す更年期に、20～30%の女性は、ホルモン分泌変化による更年期障害を経験する。

- ・男性も男性ホルモンの分泌量が20代をピークに減少するため、男性更年期障害（加齢男性性腺機能低下症候群）が起こる。

《男性更年期障害の症状》

気力や認知力の低下、性的活動力の低下、筋肉量の減少による筋力低下、内臓脂肪増加、骨塩量低下、全身の倦怠感、易疲労性など

症状が、身体、精神、性機能など非常に多岐に渡るが、これらの症状に対し、積極的な専門的治療はまだ広く浸

活動報告

透していないという現状の報告もありました。

男性・女性を問わず、働き盛りである成人期の心身の変化は、日本ではあまり語られず、個々人が悩みを抱えている状況が推測され、十分な知識がないことで、不安を抱えている可能性も伺えます。医療職として、正しい知識を身につけ、性別を問わず、身体の変化についての理解を深め、相互理解に繋げることで、よりよい職場環境作りに繋げられる可能性を感じる講演でした。

今後のウィメンズヘルス、メンズヘルス領域の教育の普及にも期待したいと思います。

講演2

「妊娠中の理学療法士の就業に配慮する点
～妊娠の腰痛に対する理学療法経験からの提言～」
鳥島市民病院リハビリテーション科 舟木一夫先生

最近、妊娠・出産を経験しながら仕事を両立させて頑張っておられる方も増えてきたと感じられるようになりました。それでも、妊婦さん自身も周囲も決して妊娠中の就業について知識や環境ができたのかというと、決してそうではないというのが現実ではないでしょうか。その状況を打開するヒントを与えてくれたのが、舟木先生の講演でした。妊婦さんの心と体の悩みについて、体の中で起こる変化についての知識、様々なアンケート調査結果や先生自身の経験からまとめてお話いただき、具体的な提案も多くいただきました。

妊娠中の注意事項、医師からの指示を伝えましょう
不安や悩みを相談しましょう

妊婦さんの症状は個人差があり、本人自身の感じ方もいろいろです。どのくらい配慮が必要なのか、お互いでわからずうまくいっていない場合が少なくありません。外見上はわからない妊娠初期は、ホルモンによる母体の急激な環境変化によってつわり、便秘、頻尿などの症状が現れ、胎児にとっては外部の影響を最も受けやすい敏感な時期で、流産のリスクがある大事な時期です。精神的にもこれからの妊娠・出産、社会生活への不安、自己嫌悪に陥りやすく、周囲のサポートが必要な時期です。しかし、安定するまでは周囲には伝えない方が多いようです。特別扱いもつらいですし、全くサポートない環境

も就業継続に無理が生じます。いつでも相談できる環境が重要です。また、理学療法士は体力的にも負担の大きい職場が多いと思います。具体的な指標があれば、お互い配慮しやすいのと思います。今回の講演で提示していただいた表の1つを掲載します(表1)。

表1) 妊婦さんにとって負担の大きい作業は、具体的に何？

1. 重量物を取り扱う作業
継続作業：6～8kg 断続作業：10kg以上
2. 外勤等連続的歩行を強制される作業
3. 常時、全身の運動を伴う作業
4. 頻繁に階段の昇降を伴う作業
5. 腹部を圧迫するなど不自然な姿勢を強制される作業
6. 全身の振動を伴う作業 他

相談しやすい職場環境づくり

先生の病院では、妊娠したことが伝えられると、支援制度紹介パンフレットなるものを渡すようにしているとのこと。スライドにそのパンフレットが紹介され、時系列で分かりやすく、しかもかわいいものになっていました。通常は自分で情報収集しなければならないことが、職場から提供していただけるというのはこの上ない安心感につながると思いました。また、妊娠時期に応じて起こりうるトラブルを定期的にスタッフ全員で確認し、業務内容の配慮を行う、休憩できる場所を作るなど具体的な取り組みも、一人で悩ませない、過剰な配慮にならないようにするコツだと感じました。

この記事を書くにあたり、厚生省のホームページを見ました。数年前より制度も情報量も格段に増えています。「妊娠・出産をサポートする女性にやさしい職場作りナビ」には、具体的な制度の説明から、Q&A、体験談などわかりやすく情報がまとめてありました。是非、管理者の方も含めて覗いてみてください。



●託児室付研修会のご案内●

①会員ライフサポート部復職支援事業 交流会&研修会

「今さら聞けないシリーズ5 生活期に関わるPTのためのリスク管理～事例を通して」

日 程：平成26年12月21日（日）13：30～16：30

場 所：ウィリング横浜

講 師：大森豊先生（訪問看護リハビリテーションネットワーク）

※子育て中の方、離職中の方を優先します。定員越えて申し込みなくなった場合は下記の間合せ先にメールでご相談下さい。

②介護保険部研修会「介護報酬研修会」

日 程：平成27年3月8日（日）10：00～16：00

場 所：横浜ワールドポーターズ

■託児室利用対象者：（公社）神奈川県理学療法士会会員の家族（0歳児～就学前のお子様）

■託児室利用時間：研修開始15分前～終了後15分

■託児室の場所：いずれも研修会と同じ建物内に設置します

■託児委託業者：①(株)タスクフォース ②(株)ポピンズ

■申込み期間：①10月21日～12月12日 ②1月8日～2月28日

■託児室利用申し込み方法

いずれも、研修会とは別に申し込みが必要です。

申込者（保護者）氏名・連絡先（②の研修はポピンズからの申し込み用紙を送付するため住所を記載ください）、利用者（お子様）氏名・年齢・性別・託児で注意することをご記入の上、lifesupport@pt-kanagawa-u.ac.jp（会員ライフサポート部）へメールでお申込み下さい。

■問合せ先：lifesupport@pt-kanagawa-u.ac.jp 会員ライフサポート部までメールして下さい

※研修会・講習会の詳細、申し込みについては、ホームページをご確認ください

●復職支援実務研修●

復職に不安を感じている離職中の人を対象に、実務研修を通じて復職に自信をもってもらうための研修を企画しています。受講者募集中です。詳しくはホームページをご確認ください。

【期 日】 平成26年4月～平成27年3月（希望に合わせて最大5日）

【受講料】 1日1,000円

【募集定員】 各施設2名

【研修施設】 ホームページの掲載施設を参考に

【応募方法】 ①氏名 ②年齢 ③性別 ④連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）⑤会員番号 ⑥希望施設名（希望施設がない場合は、希望地域と職域）⑦参加可能な日程・時間 ⑧離職状況 を記入の上、下記の申込先へメールにて、ご相談、お申込ください。

【相談・申込先】 lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

（公社）神奈川県理学療法士会 会員ライフサポート部 寺尾詩子

【応募締め切り】 平成27年2月14日（土）



— 第32回神奈川県理学療法士学会新聞 vol. 3 —



〈大会テーマ〉 社会貢献

県民に選ばれる理学療法士になるには



神奈川県理学療法士会

県学会新聞

みんなで話そう、考えよう！

だから学会に行こう！

■ 準備委員長の一言

準備委員長（副学会長）の新横浜リハビリテーション病院 赤羽と申します。

この号が皆さまに届く頃にはだいぶ肌寒くなっているでしょうか。この原稿を書いているのは9月、暑さも和らぎ、徐々に涼しくなってきました。準備委員一同、総力を挙げて準備を進めています。最近では企画の内容を詰め、プログラム集の作成に着手したところです。

に「」の部分がとても気に入っています。

様々なサービスが存在する今、我々が県民（つまり患者さん・利用者さん）に選ばれるには、どうしたらいいのでしょうか。その答えを準備委員一同は用意していません。と言っても、我々は現在、その答えを持ち合わせていないと思えます。そこで今回、その答えを皆で考えられるよう企画を準備することになりました。

「改修」というテーマで、事例を交え講義して頂く予定で話を進めております。

是非学会にいらして、これからの大事なことをみんなで考えませんか？



■ 充実のランチオンセミナー

① 社会貢献

芝原庸先生（株式会社RAINBOW）、池畑健太先生（株式会社エエエ）の起業されたお二方にグループディスカッションを通じ、社会のニーズにどれだけ応えられるか、起業した理由を踏まえ今のPTの問題点や、どのような取り組みをしていけばいいのかという提案をして頂きます。今「あなた」に何ができるのでしょうか。きっかけ作りになる内容を目指します。

② 住宅改修

NPQ法人 横浜まちづくりセンターの建築士に「建築士から見た住宅

改修」というテーマで、事例を交え講義して頂く予定で話を進めております。



③ ママさんPTのランチディスカッション

河合麻美先生（PTママの会）に進行して頂きます。内容はママさんPTの現状について、ママさんPTを抱える職場（スタッフ）についてなどを検討中です。「子連れ」かつ「食事をする形式」でディスカッションする予定です。



第32回学会ホームページアドレス
<http://congress-kpta.jimdo.com/>
QRコード



ホームページ内容は随時更新中です。こちらもぜひご覧ください。

会期と会場



平成27年3月22日
パシフィコ横浜

■ 完全電子化についての変更

7月の県士会ニュースにてプログラムを完全電子化する予定とお伝えしましたが、「簡易プログラム冊子を会員へ配布すること」に変更となりました。今後、電子化を進めていく予定でありますのでご了承下さい。

●県士会主催・他団体 研修会・講習会



臨床実習教育部主催 研修会のご案内

テーマ：「臨床実習指導方法 ～対応の難しい学生への指導方法～」

内容：臨床実習における学生指導では、学力面の問題や実習指導者と学生間のコミュニケーション不良など、様々な問題が生じます。とりわけ、「何度も同じことを注意しても改善がみられない」など、通常の指導をおこなっても改善がみられない学生への対応には、難渋する方が多いのではないのでしょうか。

今回の研修会では、通常の指導方法では対応が難しい学生への指導方法をテーマとし、市川毅先生、岩満優美先生にご講演いただきます。市川先生には、臨床現場で実際に指導されているご経験をもとに、工夫されている点や具体的な指導等についてご紹介いただく予定です。また岩満先生には、臨床心理士としての視点から、対応の難しい学生への指導方法についてお話しいただく予定です。多数のご参加をお待ちしております。

講師：・市川 毅 先生
(東海大学医学部附属大磯病院・理学療法士)
・岩満優美 先生
(北里大学大学院医療系研究科・臨床心理士)

日時：平成27年2月8日(日) 13時～16時
(受付開始 12:30～)

場所：ウィリング横浜 126・127 研修室
〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおかオフィスタワー内京浜急行線・横浜市営地下鉄線：上大岡駅下車)

参加費：無料

対象者：(公社) 神奈川県理学療法士会会員

単位認定：履修ポイントの最新情報については、本会ホームページで確認してください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 web 登録をお願い致します。
神奈川県理学療法士会ウェブサイト [講習会・研修会・イベント情報] をご参照ください。

定員：120名

登録期間：平成26年11月25日(火)～平成27年1月23日(金)

問合せ先：E-mail : rinsho-jishshu@pt-kanagawa.or.jp
臨床実習教育部長 坂本美喜
(北里大学医療衛生学部)

国際医療福祉大学大学院公開講座 乃木坂スクール #21 「力学的視点から捉えた装具療法」

内容：片麻痺者のリハビリテーションにおける装具と運動療法の役割を力学的視点から解説する。近年、使用が増加しているロッカー機能を補助する装具を中心に装具の機能と歩行の関係を3次元動作分析装置による動画とビデオを併用してわかりやすく解説する。臨床現場で働く理学療法士が装具の選択や調整、装具を使用した歩行練習をする際に活用できる知識を伝えることを目的とする。

日時：2015年2月22日(日) 10:00～16:00

会場：国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス
(東京都港区南青山 1-3-3 青山一丁目タワー 5F)
(地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線
青山一丁目駅3番出口から徒歩2分)

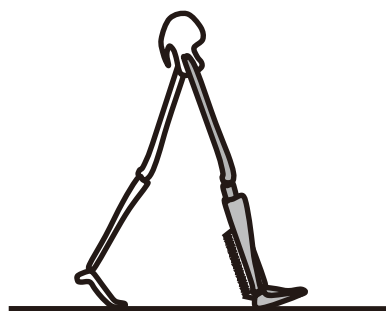
講師：山本澄子 (国際医療福祉大学大学院 教授)
溝部朋文・尾崎寛 (横浜市立脳血管医療センター 理学療法士)

受講料：6,800円 ※本学修了生・卒業生の方は別途事務局へお問い合わせください。

定員：110名

問合せ先：国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス
乃木坂スクール事務局
〒107-0062
東京都港区南青山 1-3-3 青山一丁目タワー 4F
TEL : 03-6406-8621 FAX : 03-6406-8622
E-mail : nogizaka@iuhw.ac.jp

お申し込みはホームページの申込フォームをご利用ください。
<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/nogizaka/>



理事会報告

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2014年度第2回理事会報告

- I. 開催日時：2014年8月19日(火) 18:30～21:00
- II. 会 場：神奈川県理学療法士会事務所
- III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名
理事現在数：15名
定 足 数：8名
出席理事数：12名
出席理事：秋田 裕、炭 孝昭、林 克郎、大槻かおる、惣田 洋、佐藤史子、坪内敬典、相川浩一、小山理恵子、岡本賢太郎、久保雅昭、久保木あずみ
- IV. 監事現在数及び出席監事氏名
監事現在数：3名
出席監事：井上 保
- V. 出席事務職員氏名
出席事務職員：小野田誠子、石川久子
- VI. 議長の氏名
秋田 裕
- VII. 議 題
第1号議題 新規事業および補正予算の承認について
第2号議題 会員の資格の取得の承認について（入会の承認）
第3号議題 選挙管理委員の承認について
第4号議案 規定の改変について
第5号議題 業務執行の決定について
（事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む）
- VIII. 理事会の議事の経過の要領及びその結果
- (1) 定足数の確認等
議長が理事会冒頭で定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。
- (2) 第1号議案 新規事業および補正予算の承認について
議長の求めに応じ、佐藤事務局長より新規事業および現事業の補正予算について説明があり、担当部署より補正説明があった。
- 1) 新規事業
①横浜マラソンメディカルサポート
②地域包括ケアシステム推進事業
③神奈川県介護予防従事者研修(神奈川県委託事業)
④高齢者入所施設音楽療法実施事業(神奈川県委託事業)
⑤第35回関東甲信越ブロック学会準備
- 2) 現行の事業の補正
①第32回神奈川県理学療法士学会会場設備費、印刷製本費
②組織強化委員会係り新設事業費
③福利厚生費
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。しかし、横浜マラソンメディカルサポートについては、横浜市スポーツ医科学センターと事業形態を再度確認することになった。
また（仮称）第35回関東甲信越ブロック学会準備委員会が承認されたことにより、学会長に林克郎氏（横浜リハビリテーション専門学校、本会副会長）が推薦され承認された。
- (3) 第2号議案 会員の資格の取得の承認について（入会の承認）

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より会員の資格の取得について、前回理事会からの入会予定者350名の申請があったとの説明がされ、平成26年8月19日現在の会員数が4,361名との報告があった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認された。

(4) 第3号議案 選挙管理委員の承認について

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より選挙管理委員候補として、秋田会長から委員長に上杉上氏（横浜市立大学附属病院）委員に小田切美穂氏（磯子中央病院）渡辺拓也氏（横浜市立大学附属病院）の推薦があったと報告された。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

(5) 第4号議案 規定の改変について

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より公印管理規定および賛助会員規定について下記の提案があった。

- ①公印管理規定：実印使用範囲に「理事会議事録」を追加
②賛助会員規定：種別の変更および入会、退会、情報変更等の様式を追加

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

(6) 第5号議案 業務執行の決定について

（事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む）

1) 関連団体依頼事項の件

- ①佐藤局長より、以下の後援・共催、協賛依頼があったとの説明があった。

- 1 神奈川県保険医協会「第17回循環器セミナー」後援
2 神奈川県在宅療養支援診療所連絡会「第4回神奈川県在宅医療推進フォーラム」後援
3 横浜市立大学附属市民総合医療センター「市民公開講座」後援
4 神奈川県保険医協会「第18回医療・健康フェスティバル」後援
5 神奈川県糖尿病療養指導士認定機構「第8回神奈川県糖尿病療養指導士認定機構研修会」
6 神奈川県病院協会「第33回病院学会」後援
7 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター「脊髄損傷のリハビリテーション実務編」「車椅子のシーティング理論と実際」「PT・OTのための土曜教室」後援
8 神奈川県総合リハビリテーションセンター「かなりはリハ工学福祉機器フェスティバル2014」後援
- 審議の結果、原案の通り出席理事全員一致で承認された。

- ②佐藤局長より、以下の会員推薦依頼があったとの説明があり、下記の提案があった。

- 神奈川県病院協会「第33回病院学会運営協力職員」推薦候補者：松本肇氏（鶴巻温泉病院）
布施直樹氏（鶴巻温泉病院）

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認した。

- ③佐藤事務局長より、以下の会議室使用申請があったとの報告があった。



アーリア20管理組合(6月21日、7月26日)神奈川県糖尿病療養指導研究会(6月27日)審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

④佐藤事務局長より、神奈川県保健衛生表彰平塚市保健福祉所長表彰へ沼田浩吉氏(平塚共済病院)神奈川県公衆衛生協会会長表彰へ澤田明彦氏(七沢リハビリテーション病院脳血管センター)を推薦したいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

⑤相川理事より本会「フェイスブック利用ガイドライン」およびアカウント申請書について提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。既にフェイスブックを開始している部・委員会は早急に申請書、運用規則を提出することとする。

⑥佐藤理事より「第50回日本理学療法学会シンポジウム」のためのアンケート内容について提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

2) 学術局

①小山理事より、会報第43号の印刷業者について、3社より見積もりを取った結果「株東京プレス」に印刷を依頼したいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

②岡本理事より、学術サークル助成に17団体の申請があり、1団体あたりの助成額を26,470円にしたいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

XI. 報告事項

(1) 会長職務執行状況報告

秋田会長より、前回理事会からの昨日までの会長職務の執行状況が報告された。

(2) 事務局業務執行状況報告

佐藤局長より、前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。

1) 発行文書・收受文書の管理について

2) 各種表彰の今年度体制について

表彰規定作成についてプロジェクトにて検討

プロジェクトメンバーは、井上監事、秋田会長、隆島副会長、磯部前表彰委員会委員長、佐藤事務局長

3) 会費未納者について

3年未納者：77名 2年未納者：152名 1年未納者：531名(7月末日現在)。

8月末で、3年未納者は自動退会となる。

4) 日本理学療法士協会倫理担当者会議について

平成26年9月20日(土) 林副会長出席予定

5) 神奈川県生涯教育推進事業について

神奈川県リハビリテーション協議会より委託事業内容の見直しが提案され、神奈川県より内容検討の依頼があった。本会として事業内容の適性を判断し次年度に向け検討を進める。

6) 賛助会員について

規定に基づき、本会ホームページに企業ホームページのリンクをはる。

7) 研修会貸出し用パソコンについて

ハードディスクの破損が続いている為、取り扱いには十分注意してほしい。

8) ロゴマークの商標登録について

平成26年8月7日付で商標登録が認証され、登録存続期間10年の手続きを依頼した。

9) 広報部より、執行状況が報告された。

10) ウェブサイト管理部より、執行状況が報告された。

11) 会員ライフサポート部より、学術大会で、「託児室アンケート調査」「ライフサポートセミナー」を行うことが報告された。

12) 災害対策委員会より、執行状況が報告された。

(3) 学術局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。

1) 生涯学習部より、執行状況が報告された。

①運動理学療法領域講習会(終了報告)

②発達障害領域講習会(終了報告)

2) 学術誌編集部より、執行状況が報告された。

①会報「技術と研究」第43号テーマが予防と理学療法に決定

②執筆者の決定

(4) 社会局業務執行状況報告

惣田局長より、前回理事会から昨日までの社会局の執行状況が報告された。

1) 県医療専門職連合会について、報告された。

2) スポーツ支援部より、執行状況が報告された。

①第1回スポーツ理学療法講習会

3) 公益事業推進部より、執行状況が報告された。

①公共スペースでのキャンペーン(終了報告)

②ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド出展(終了報告)

③公開講座(終了報告)

④公開セミナー(終了報告)

(5) 職能局業務執行状況報告

大槻局長より、前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。

1) 医療保険部より、執行状況が報告された。

2) 介護保険部より、執行状況が報告された。

3) 環境支援部より、執行状況が報告された。

4) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会出席報告

(6) 地域包括ケアシステム推進対策委員会業務執行状況報告

久保木理事より、前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。



青いダック

生きるためのがん保険 Days

ちゃんと考える人に。新登場。

ちゃんと応える医療保険 NEVER



フランスワン アフラックダック

お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社

Affac

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7新宿ファーストウエスト17F TEL.03-3344-1580

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 **No.1**

平成25年度(インフラランス)全国保険統計

Gift

日本ウイール・チェア
オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)



車いすなんでも相談



日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

SAKAimed

明日に踏み出すチカラ。酒井医療

酒井医療株式会社 横浜営業所
横浜市都筑勝田南 2-18-5
tel : 045-590-5485
www.sakaimed.co.jp


地域密着型のお仕事です。一緒に働いてみませんか？

介護サービス
児童サービス

Well

ホイサービスセンター Well(ウェル)

ほく、かながわん！



PT・OT・ST・看護師 募集中！

ARS
訪問看護リハビリ

ARS訪問看護
リハビリステーション

(有)足柄リハビリテーションサービス
TEL : 0465-39-3730
URL : <http://ashigara-reha.jp/>



一般向けイベントの広報にご協力をお願いします

健康チャレンジフェアかながわ

日時：2014年11月29日 11時から16時

会場：クイーンズサークル（みなとみらい駅）

ブース出展とステージで転倒予防についてのミニレクチャーを予定しています。

転倒予防セミナー

日時：2015年1月10日 10時から12時

会場：かながわ県民サポートセンター ホール（横浜駅）

簡単な体力測定と講義・体操の指導を予定しています。

詳細は士会ホームページに掲載します。また、チラシをダウンロードできるようにしておきますので掲示・配布などご協力をお願いします。

公益事業推進部

日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行ってください。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了してください。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可してください。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

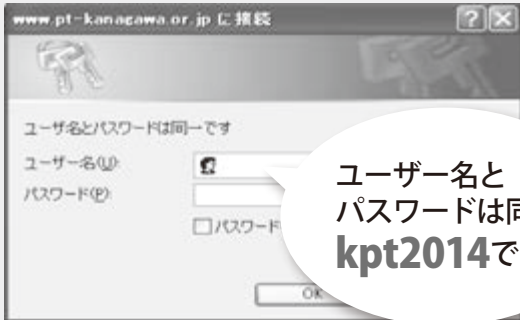
*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

information



アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

あなたのニーズを

“かたち” にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>



(有)木村義肢工作研究所

〒247-0006神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号

TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

理学療法士

在宅酸素療法の包括的サポートツール

さんに是非使って頂きたい！



運動療法・呼吸療法等+リモコン機能+災害対応

電話 045-852-8170



パレット



+



株式会社 星医療器



Daiwa House.

大和ハウスグループ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

ロボットスーツ HAL®福祉用は、

全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中！

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社

ヒューマン・ケア事業推進室

東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号

ロボット事業推進室



スポーツ現場の 独り言 (2)

セルフマネージメント

今年9月に韓国の仁川でアジア大会が行われました。アジア大会はオリンピックのアジア版ともいえる大会で、4年に一度オリンピックの中間年に開かれる非常に重要な大会です。今大会、競泳チームの成績は目標からは下回るものの前回大会より3つ多い金メダルを獲得しましたが、最後にチーム内に不祥事が起こりました。チームの一員として深くお詫び申し上げます。

しかし、この件に限らずスポーツ界では少なからず不祥事が起きており、その原因を現場に携わる一人として考えています。

トップ選手が不祥事を起こすことは稀です。競泳の場合、国際大会にはルール上各種目2名まで出場できますが、2番手で選ばれた選手が全員メダルに絡めるわけではありません。しかし周囲からの期待はかなりのものでしょう。スポーツの世界では、トップの選手のみならず、こういう2番目の選手にも相当の重圧がかかっていることが想像できます。

そして、そういうストレスをコントロールできない選手が問題行動に走ってしまうのではないかと考えています。

このように過酷な競技場面で、逆に経験を糧にレベルアップできる選手も少なくありません。そのような選手に共通するのは、「セルフマネージメント」つまり自分のことは自分でできるという点です。日本代表は所属チーム1番手の選手の集まりです。所属チームでは自分中心にできたとしても、日本代表ではそうはいきません。これは部活動でも同様で、例えば高校から大学とカテゴリーが上のチームに入った時に皆が感じる戸惑いと同じだと思います。そのときに、しっかり自分でコンディション調整できる選手は間違いなく成長できます。そして、これがジュニアの時期にセルフマネージメントできる選手を育てなければならぬ大きな理由だと思うのです。

大学や社会人、また日本代表などスキルアップしていった選手がそのカテゴリーで成功できるかどうかは、実は小中学・高校といったジュニアの世代でのセルフマネージメントの教育にかかっているのだらうと思います。日本代表に関わる者として自らの責任を放棄するわけではありませんが、ジュニアの選手に関わる方々とこのような共通の責任を共有していければと考えています。

独立行政法人日本スポーツ振興センター

マルチサポート事業 小泉圭介

余剰を愉しんでみよう (3)

しばらく前にシーズン2が始まった「サイコパス」は、「踊る大捜査線」で有名な本広克行氏が総監督の近未来SFアニメです。サイコパスとは人間の心理状態を表す指標で、日本は、この指標から犯罪係数が高い潜在犯を裁くシビュラシステムを導入しているという設定で、この監視社会の公安局に属する捜査官たちを中心に物語が展開されます。シーズン1が放映されたとき、劇中のさまざまな引用が、余剰を愛する私としては興味深いものでした。例えば、主人公の読んでいる本が、プルースタや、コンラッドの作品だったり、主人公が「俺は、誰かがパスカルを引用したら用心すべきだ、とかなり前に学んでいる。」と言え、相手役はオルテガの名前を出してそれに応えたり、そんなシーンはなかなか普通のドラマではお目にかかれませんが、ともすれば、こういう引用は小栗虫太郎のようなペダンティックな悪趣味に陥るリスクを伴いますが、この作品には、引用が全体のテーマと深く結びついていて、知らないからついていけなくなることはないという良好なバランス感覚があります。

今回は、そうした登場人物の一人が仲間にも勧めた「アンドロイドは電気羊の夢を見るか？」の作者であるフィリップ・K・ディックを取り上げたいと思います。そもそもサイコパスの監視システムである「シビュラ」なる名前もディックの短編からとられています。

彼の作品は「アンドロイドは…」を原作とする「ブレードランナー」をはじめ、「トータルリコール」「マイノリティ・リポート」などいくつも映画化されています。しかし、映画と比較すると、これらディックの原作に流れるテーマというのは、一貫して「この世界は果たして現実なのか？」です。彼は、私たちが昨日までリアルと感じていた現実を独特のタッチで崩壊させてみせるのです。中期の傑作「ユービック」



著者：フィリップ・K・ディック
(早川書房)
題名：ユービック

は、月での爆弾テロで生き残った予知能力者たちが、すべてのものがすさまじい速度で退化していく「時間逆行現象」に巻き込まれていくという話です。荒唐無稽に思えるプロットの向こうに、私たちの足もとがそんなに盤石なものかど

うかを問う「幻視者」としてのディックの本質を垣間見ることができます。10代の一時期、ディックにどっぷりとはまった私は、彼の作品群を通して、自分の感じる世界がすべてではないということを学んだような気がします。

私たちは職業柄、実際にはそこにはない手や足があるように感じる「幻肢」という症状を知っています。また、本来であればシンクロしないはずの光（口の動き）と音（声）は、感覚器と脳によってうまく辻褃をあわされています。私たちがとらえている現実とはいったい何だろうか？というの、古来より、すべての哲学者や科学者のテーマですが、ディックは、どこまでが本物でどこからが偽物かということが言えない世界に私たちが住んでいることを、いびつなエンターテインメントを通して教えてくれます。今思えば、それは私にとって、価値を相対化できる能力を身につけるための通過儀礼だったような気がします。

江戸川乱歩は、いみじくも「うつし世はゆめよるの夢こそまこと」と言いました。たとえ、どんな世界に生きていても、境目がわかったような気である、ディックの小説の主人公たちのように足もとをすくわれることがあるかも知れません。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部
理学療法学科 谷 浩明

編集後記

編集後記

秋もますます深まり、紅葉の季節を迎えました。秋といえば〇〇の秋と言われ、物事へ打ち込むのによい季節であるとされています。みなさんはどのような秋をお過ごしでしょうか？私の場合は、パン作りの秋です。パン好きが高じて、できたてのパンを作って食べてみたいと思い教室へ通ってパン作りを習いました。パンの種類に応じてこねる度合いを変える理由、各調味料の役割、粉の配合などを習い、何もかもが新鮮でした。その時、パンを発酵させるためには温度調節が大切だということも習いました。室内の温度が高すぎると、パンの発酵が進み過ぎてしまい焼いたときに膨らまないパンになってしまいます。また、パンをこねるのは全身運動を必要とします。手先の力だけでこねようとすると、生地が上手くまとまらないので体重移動と上肢全体を使います。そのため、身体を動かしても汗をかきにくい今の季節が適しています。様々なことに気を遣わなければならない、手間のかかる作業ですが、出来上がった時の嬉しさは何ものにも代えがたい感動です。この経験を通して、あることが当たり前だと思っていることをはじめから学ぶ楽しさを味わうことができました。みなさんも新鮮なことと向き合う秋を過ごしてみたいはいかがでしょうか。 (今井)

次号の原稿締め切りは**12月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部(ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルをお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしく
お願い致します。

— 求人広告掲載についてのお知らせ —

これまで本ニュースにおいて掲載しておりました求人広告ですが、2014年3月号をもって終了とさせていただきます。

今後は、ホームページのみの掲載となります。

ホームページでの求人掲載の申込方法については、以下のURLよりご確認ください。

<http://pt-kanagawa.or.jp/members/job-offer/recruit/>

◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

部長：谷 浩明 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

部員：渡邊観世子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

田島 敬之 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階 (横浜駅徒歩2分)

■お問い合わせ 0120-12-6186 (営業時間 10:00~20:00)

 神奈川ロイヤル株式会社

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1

TEL: 045-440-3911 FAX: 045-440-3912

SP-i

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>